



雪の中・往診の路すがら、背負われた幼子
になごむ笑顔の周子先生

2013年5月1日 第 3 号



ち か こ し ん ぶ ん 周子新聞

発行：志田周子の生涯を銀幕に甦らせる会

(事務局-西川交流センターあいべ内) ☎0237-74-3131

〒990-0703 山形県西村山郡西川町大字間沢 280

映画化のための民間の組織立ち上がる！

志田周子の生涯を銀幕に甦らせる会設立総会

二月十六日西川交流センターにおいて、「志田周子の生涯を銀幕に甦らせる会設立総会」が開催されました。

この日は一冬に一度はあるかという猛吹雪の空模様でしたが、「あいべ」大ホールには、百七十名の会員や町民が集い、熱気の中の開催となりました。

会長に阿部幸一さん

設立総会では、会則に続き阿部幸一月山朝日観光協会会長を会長とする役員体制が承認されました。また、①映画制作資金募金を一億円とすることを始め、②脚本を依頼すること。③プロデューサー活動を依頼すること。④様々な機会を捉えて

趣旨を説明したり、募金・寄付をお願いする啓発事業を行うことが確認されました。

目標は一億円

一口・五千元から

当面の活動経費としては、県と町からの支援六十万円を啓発や旅費・交渉経費に支出することになりました。

募金体制については、一口、五千元とし、現金と郵便振替の両方で受け付けることになりました。

会場からは、募金方法等について心配する意見等が出されましたが、町内外・県外・全国に賛同者を募り、つながりを拡大しながら目標達成することが説明・確認されました。

目指すは、まちづくり型映画

映画づくりは、志田周子の普遍的な生き様を地域の宝とし、現代に問いかけ、周子が生きてきた月山朝日の四季の美しい景観・風土を背景に、人々の心温かな暮らしぶりや生活様式、当時の食をも描き制作することで、多くの人々にここで生きていることの意義、ここで暮らしていくことの素晴らしさを紹介、併せて、町民自らもその意義を再確認することで、今後の町づくりに寄与しようとする「町づくり型映画」とすることを確認しています。



当日は総会前に【第1部：志田周子に捧げる記念公演】【第2部：映画化の可能性を追求する記念講話】を開催しました。

5月1日

今日からスタート！1億円募金活動



1億円の活動募金が達成されるよう祈願する阿部幸一会長と副会長



1億円の活動募金物品を受け取る奥山妙子副会長(町婦人会長)



5月1日(水)午前10:45から周子先生ゆかりの大井沢湯殿山神社で、1億円募金活動出発式を執り行いました。

式は1億円募金達成祈願祭に続き、阿部会長あいさつ、顧問の小川西川町長・渡邊大江町長・大川東北文教大教授からは激励のことばをいただきました。続いて実際に組織をあげて取り組みを進めることになる各副会長の団体の代表として、奥山妙子婦人会長に対し、活動趣意書や領収書、募金名簿等の活動物品が授与され、団体を代表して佐藤耕二大井沢区長から決意表明をいただきました。最後に秋場幸四郎町芸文協会長からは、声高らかにガンバローコールをいただきました。

★甦らせる会は、5月1日を契機とし、今後それぞれの団体・関係機関が積極的に募金活動を開始していくことを確認しました。

◆ゴールデンウィーク期間中、大井沢温泉館では、志田周子パネル展を開催しています。是非ご来場ください。

皆さんの賛同と募金をお願いします。



五月一日のお知らせ版で、『志田周子の生涯を銀幕に甦らせる会』活動趣意書を全戸配布させていただきました。

志田周子の生きざまや町づくり型映画制作に対して、ご賛同いただける方は、趣意書内に印刷してある郵便振込票により一口、五千円の映画制作費の募金をお願い申し上げます。

制作募金は現金を直接お持ちいただいても結構ですので、その折は、西川交流センター「あいべ」内事務局にお届け下さい。

なお、募金者については、本紙「周子新聞」にてご氏名を紹介させていただきます。掲載を希望しない方は除きます。」

活動趣意書を全戸配布しました。

◆活動趣意書：募金の中に印刷してある郵便振込用紙をご利用ください。